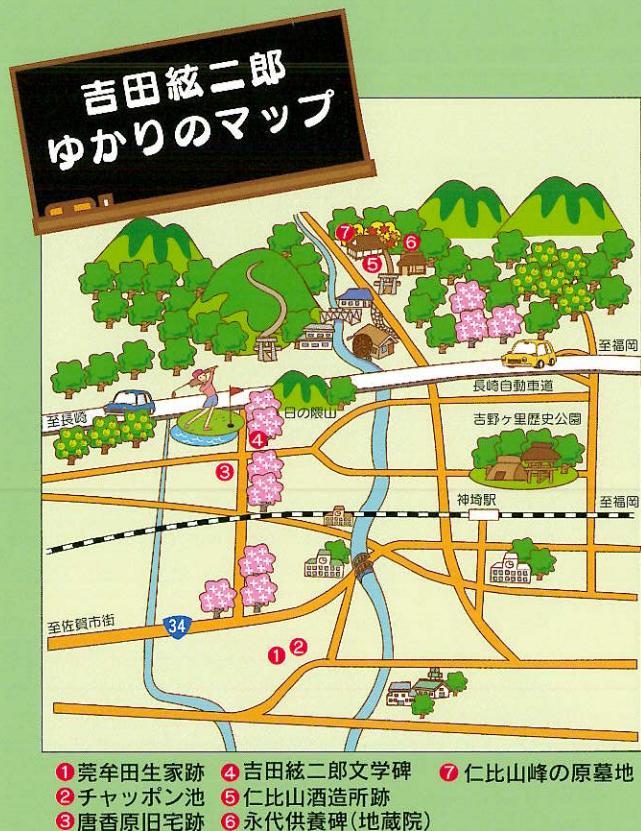


## 吉田絃二郎略年譜

1886年 明治 19年 0歳	11月24日佐賀県神埼町(旧神埼郡西郷村)に生まれる。
1890年 明治 23年 4歳	佐世保市上町に転居。
1891年 明治 24年 5歳	佐世保市八幡町八幡小学校に入学。
1899年 明治 32年 13歳	長崎のミッションスクール東山学院に編入学ぶ。
1900年 明治 33年 14歳	佐賀工業学校金工科(現在の機械科)に入学。
1903年 明治 36年 17歳	佐賀工業学校を首席卒業。佐世保海軍工廠に働く。
1905年 明治 38年 19歳	4月早稲田大学第三高等予科に入学。
1906年 明治 39年 20歳	9月早稲田大学文学科に入学。 12月一年志願兵として対馬要塞砲兵隊に入る。
1908年 明治 41年 22歳	9月見習士官として対馬の重砲兵大隊に入る。
1909年 明治 42年 23歳	1月早稲田大学英文科本科に入学。
1910年 明治 43年 24歳	秋 ペンネームは、坪内逍遙の命名による。
1911年 明治 44年 25歳	7月早稲田大学英文科を卒業。
1912年 大正 元年 26歳	秋 前田明枝と結婚。
1914年 大正 3年 28歳	3月『早稲田文学』に処女作、小説『磯ごよみ』を発表。
1915年 大正 4年 29歳	7月早稲田大学講師となり、英文学と英語を担当。
1917年 大正 6年 31歳	10月『早稲田文学』に出世作、小説『島の秋』を発表。
1921年 大正 10年 35歳	7月感想集『小鳥の来る日』を刊行。 ベストセラーとなる。
1924年 大正 13年 38歳	12月早稲田大学文学部教授となる。
1931年 昭和 6年 45歳	『吉田絃二郎全集』(2.5.7.8.11.13巻)を刊行。
1932年 昭和 7年 46歳	『吉田絃二郎全集』(4.9.10.15.16巻)を刊行。 『吉田絃二郎童話全集』(1.2.3巻)を刊行。
1933年 昭和 8年 47歳	『吉田絃二郎童話全集』(4.5巻)を刊行。
1934年 昭和 9年 48歳	3月早稲田大学教授を退官。作家活動に専念する。 『吉田絃二郎全集』(1.6.14.17.18巻)を刊行。
1935年 昭和 10年 49歳	1月～2月『二条城の清正』を、歌舞伎座で中村吉右衛門が上演。 『吉田絃二郎全集』(3.12巻)を刊行。
1937年 昭和 12年 51歳	7月表明枝死去。 10月『吉田絃二郎選集』全8巻を刊行。
1939年 昭和 14年 53歳	『吉田絃二郎感想選集』全7巻を刊行。
1940年 昭和 15年 54歳	『人生遍路』『吉田絃二郎感想選集』(8～10巻)を刊行。
1941年 昭和 16年 55歳	2月日活映画の『江戸最後の日』が文部大臣賞受賞。
1951年 昭和 26年 65歳	11月『吉田絃二郎作品集』(1.3.4巻)を刊行。
1956年 昭和 31年 70歳	少年少女小説『山はるかに』の最終編が絶筆となる。 4月21日 永眠。



交通アクセス		
■ 博多駅	JR長崎本線 約50分	神埼駅
■ 佐賀駅	車 約25分	神埼市
■ 福岡空港	高速バス 約40分	高速神埼
■ 佐賀空港	タクシー 約30分	神埼市

## 吉田絃二郎顕彰会

〒842-0007 佐賀県神埼市神埼町鶴 3388 番地5

神埼市中央公民館

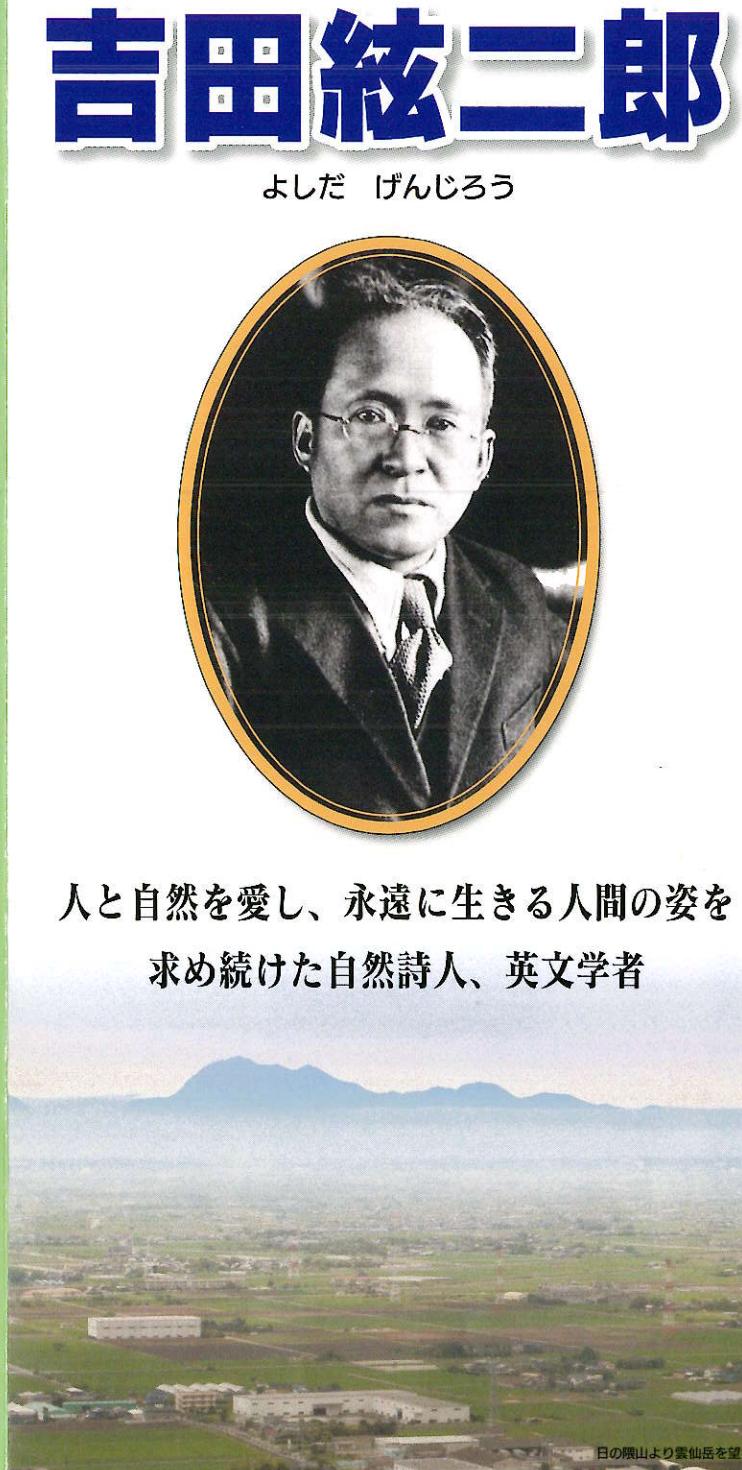
TEL0952-53-2325

# 吉田絃二郎

よしだ げんじろう



人と自然を愛し、永遠に生きる人間の姿を  
求め続けた自然詩人、英文学者



日の隈山より雲仙岳を望む